

平成 30(2018)年度
東京大学大学院工学系研究科
都市工学専攻入試案内書

Entrance Examination Guide for 2018 Matriculation,
Department of Urban Engineering
Graduate School of Engineering, the University of Tokyo

● 都市工学専攻修士課程入学志望者案内	1
● 都市工学専攻受験申告票 [修士課程]	5
● 都市工学専攻博士後期課程入学志望者案内	7
● 都市工学専攻受験申告票 [博士後期課程]	9
● 修士課程・博士後期課程学生選抜試験日程	11
● 東京大学大学院工学系研究科入学試験受験者心得	12
● 試験場案内(東京大学本郷キャンパス)	14

連絡先

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻事務室

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

電話:03-5841-6216

Web サイト:<http://www.due.t.u-tokyo.ac.jp/>

平成 30 年度東京大学大学院工学系研究科
都市工学専攻修士課程(都市環境工学・都市計画専攻分野)
入学志望者案内

- この案内書は、平成 30 年度東京大学大学院工学系研究科修士課程学生募集要項を補うものである。
- 都市工学専攻修士課程には、このほかに都市持続再生学コース(社会人向け東大まちづくり大学院)があり、本年は 6 月 24 日に入学試験を行う。その入学志望者案内は別途配布している。

都市工学専攻 アドミッションポリシー

教育研究上の目的:

本専攻は、都市工学に関する体系的な知識とその応用技術を身につけ、都市計画、都市デザイン、都市交通計画、都市解析、環境デザイン、都市環境工学、都市水システム、国際都市環境、都市マネジメントなどに関する専門家として活躍できる人材を育成し、地域の気候風土・社会文化の多様性を踏まえ、グローバルな視点から国土及び地域社会の健全な発展に貢献することを教育研究上の目的とする。

求める学生像:

- 1)本専攻の教育研究上の目的に沿う人材育成に応える人
- 2)多様な文化を理解尊重し人類社会に対して国際的に貢献することを目指す人

1. 定員及び出願資格

大学院修士課程(都市環境工学・都市計画専攻分野)の募集人員は 25 名である。東京大学大学院工学系研究科修士課程学生募集要項(以下「募集要項」という)第 1 項の出願資格を有する者であれば、その専門及び資格取得年次等によらず入学を志望することができる。

2. 専攻分野及び指導教員

都市環境工学と都市計画の 2 つの専攻分野があるので、受験申告票の専攻分野欄のうち志望する専攻分野に○印をつけ、入学願書に添付して提出すること。なお、専攻分野に応じて、試験科目中(B)、(C)の問題の選択範囲が限定されるので注意すること。

本専攻の指導教員及び本専攻における教育・研究に協力する教員とその研究領域(平成 29 年 4 月現在)は 4 頁別表 1・別表 2 のとおりである。

3. 入学時期

本専攻では、平成 30 年 4 月入学のほか、平成 29 年 9 月入学を認めている。合格の際、早期入学を希望する者は、受験申告票の「平成 29 年 9 月入学」に○印をつけること。また、入学願書の所定の箇所にも同様に記入すること。

4. 選抜方法

選抜は入学試験によって行う。

5. 入学試験科目

入学志望者は筆記試験及び口述試験を受験しなければならない。

(イ) 筆記試験：

試験科目(配点)	試験時間	摘 要
(A)外国語 (100点)	2時間 30分	TOEFL ITP®による英語。工学系研究科として共通して行う。出願時に TOEFL iBT®又は TOEFL PBT®の公式スコアを提出できる場合、そのスコアを外国語(英語)試験に替えることもできる。必ず「平成30(2018)年度東京大学大学院工学系研究科大学院入学試験外国語(英語)試験に関するお知らせ」を参照すること。
(B)都市工学専門 (500点)	3時間	次の分野から出題される 15 問のうち 5 問を選び、解答すること。ただし、専攻分野として都市環境工学を志望する者は①～⑦のうちから 3 問以上を、都市計画を志望する者は⑧～⑮のうちから 3 問以上を選択しなければならない。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><都市環境工学></p> <p>① 上水道学・下水道学</p> <p>② 水理学</p> <p>③ 水環境学</p> <p>④ 環境微生物工学</p> <p>⑤ 環境化学・反応論</p> <p>⑥ 地球環境工学</p> <p>⑦ 廃棄物管理・資源循環</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><都市計画></p> <p>⑧ 都市計画</p> <p>⑨ 都市デザイン</p> <p>⑩ 都市住宅学</p> <p>⑪ 都市防災</p> <p>⑫ 都市解析</p> <p>⑬ 都市交通計画</p> <p>⑭ 地域計画</p> <p>⑮ 緑地計画・環境デザイン</p> </div> </div>
(C)計画・設計・論文 (200点)	3時間	専攻分野として都市環境工学を志望する者は C-1, C-2 のうち 1 科目を、都市計画を志望する者は C-3, C-4 のうち1科目を選択すること。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><都市環境工学></p> <p>C-1 計画・設計</p> <p>C-2 論文</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><都市計画></p> <p>C-3 計画・設計</p> <p>C-4 論文</p> </div> </div>

注)・配点は上記すべての試験を受けることが課せられた受験者の場合の配点である。

- ・英語の得点は、「TOEFL の素点(TOEFL ITP®もしくは TOEFL PBT®の点数, または, TOEFL iBT®の点数を TOEFL PBT®に換算した点数)－450」とし, 得点の上限は 100 点, 下限は 0 点とする。
- ・(B), (C)については英語で解答することも可とするが, 英語による解答を希望する者は, あらかじめ受験申告票によって申告すること。

(ロ) 口述試験:志望する専攻分野について行う。

6. 過去の入学試験問題の公開

過去の入学試験問題は, 本専攻 Web サイトで公開している。

7. 説明会

都市環境工学分野説明会を 5 月 20 日(土) 13 時 30 分より工学部 14 号館 8 階 802 号室(都市工学専攻会議室)にて, 都市計画分野説明会を 5 月 25 日(木)18 時 00 分より工学部 14 号館 2 階 144 講義室にて開催する。

8. その他

入学志望者は、本案内 12 頁に記載されている「入学試験受験者心得」を熟読すること。

9. 連絡先等

連絡先： 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻事務室

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1 電話：03-5841-6216

都市工学専攻 Web サイト <http://www.due.t.u-tokyo.ac.jp/>

別表 1:都市工学専攻の指導教員とその研究領域(平成 29 年 4 月現在)

専攻分野	担当教員	研究領域
都市環境工学	小熊 久美子 准教授 ^[1] 春日 郁朗 准教授 片山 浩之 准教授 ^[2] 栗栖 聖 准教授 栗栖 太 准教授 ^[3] 滝沢 智 教授 中島 典之 准教授 中谷 隼 講師 福士 謙介 教授 ^[4] 古米 弘明 教授 ^[3] 森口 祐一 教授 山本 和夫 教授 ^[5]	健康関連微生物管理, 浄水技術, 水供給システム 生物学的浄水・廃水処理, 環境微生物工学, 水道水質管理 水質衛生学, 上下水道, 環境微生物動態 環境低負荷型地域管理, 環境心理学, 住民選好把握 環境微生物工学, 地下水・土壌浄化, 生物学的下廃水処理 都市水システム, 浄水技術, 途上国の水環境管理 生態毒性評価, 環境水質化学, 底質汚染管理 ライフサイクル評価, 消費者選好評価, リサイクルシステム 有害物質管理, リスク管理, 広域水環境管理 水環境保全制御, 都市雨水管理, 下水道 資源循環管理, ライフサイクル分析, 産業エコロジー 廃棄物管理, 水再利用, 環境質リスク低減先進技術
都市計画	浅見 泰司 教授 大方 潤一郎 教授 加藤 孝明 准教授 ^[6] 城所 哲夫 准教授 窪田 亜矢 特任教授 小泉 秀樹 教授 ^[1] 瀬田 史彦 准教授 高見 淳史 准教授 中島 直人 准教授 西村 幸夫 教授 原田 昇 教授 樋野 公宏 准教授 廣井 悠 准教授 村山 颯人 准教授 横張 真 教授	居住システム, 都市住宅学, 空間情報解析 土地利用計画, 市街地整備手法 地域安全システム学, 防災・復興まちづくり論, 計画支援技術 国際都市地域計画, 開発途上国都市計画 地域デザイン, 復興計画 コミュニティ再生論, まちづくり論, 住環境計画論 国土・都市計画, 地域開発, グローバル都市論 都市交通計画, 交通と土地利用の連携, 交通計画制度 都市デザイン, 都市論, 都市計画史 都市デザイン, 都市保全計画, 都市景観計画 都市交通計画, 都市交通論 居住セキュリティ, 都市居住・住環境 都市防災, リスク工学 都市計画, まちづくり, 計画策定技法 緑地環境計画, ランドスケープ計画, サステイナビリティ

別表 2:都市工学専攻における教育・研究に協力する教員とその研究領域(平成 29 年 4 月現在)

専攻分野	担当教員	研究領域
都市環境工学	浅見 真理 教授 ^[7] 小貫 元治 准教授 ^[8] 佐藤 弘泰 准教授 ^[9] 味埜 俊 教授 ^[9]	水道水質リスク評価, 健康危機管理, 水と衛生に関する国際協力 下水, 廃水処理システム, 環境・サステイナビリティ教育 下水・廃水処理, 環境分析化学, 環境微生物工学 サステイナビリティ学, サステイナビリティ教育, 下水道システム
都市計画	貞広 幸雄 教授 ^[10] 出口 敦 教授 ^[9]	都市情報システム, 都市空間解析, 都市行動・計画立案支援 都市デザイン, コンパクトシティ, エリアマネジメント

教員所属: 無印 都市工学専攻

[1]先端科学技術研究センター

[2]日越大学

[3]水環境制御研究センター

[4]国際高等研究所サステイナビリティ学連携研究機構

[5]環境安全研究センター

[6]生産技術研究所

[7]国立保健医療科学院生活環境研究部

[8]新領域創成科学研究科環境学研究系サステイナビリティ学教育プログラム

[9]新領域創成科学研究科環境学研究系社会文化環境学専攻

[10]空間情報科学研究センター

都市工学専攻 受験申告票

修士

本受験申告票は、募集要項の出願方法に従い、入学願書に添付して所定の出願期間内に提出すること。

下記の所定欄に記入し該当する項目に○をつけること。つけおとしがあるときは、出身学科等を考慮して本専攻で選択科目を指定することがある。

ふりがな		
修士課程受験者氏名 Name: Surname, First name		
専攻分野 Major field of study (1 頁の第 2 項を参照)	都市環境工学 Urban Environmental Engineering	都市計画 Urban Planning
入学時期 Anticipated entry (1 頁の第 3 項を参照)	平成 29 年 9 月入学 September, 2017	平成 30 年 4 月入学 April, 2018
(入学願書に記入した内容と必ず一致させること) The term stated above must be in accordance with the term stated in the application form		
英語による解答 Do you wish to take the examination in English? (2 頁の第 5 項を参照)	希望する Yes	希望しない No

修士課程における研究計画について (Research plan)

研究テーマ, 目的, 方法を下欄に簡潔に記述しなさい(別紙の添付は認めない)。

平成 30 年度東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻博士後期課程 入学志望者案内

・この案内書は、平成 30 年度東京大学大学院工学系研究科博士後期課程学生募集要項を補うものである。

都市工学専攻 アドミッションポリシー

教育研究上の目的:

本専攻は、都市工学に関する体系的な知識とその応用技術を身につけ、都市計画、都市デザイン、都市交通計画、都市解析、環境デザイン、都市環境工学、都市水システム、国際都市環境、都市マネジメントなどに関する専門家として活躍できる人材を育成し、地域の気候風土・社会文化の多様性を踏まえ、グローバルな視点から国土及び地域社会の健全な発展に貢献することを教育研究上の目的とする。

求める学生像:

- 1)本専攻の教育研究上の目的に沿う人材育成に応える人
- 2)多様な文化を理解尊重し人類社会に対して国際的に貢献することを目指す人

1. 定員及び出願資格

大学院博士後期課程の募集人員は 11 名である。東京大学大学院工学系研究科博士後期課程学生募集要項(以下「募集要項」という)第 1 項の出願資格を有する者であれば、その専門及び資格取得年次等によらず入学を志望することができる。

2. 専攻分野及び指導教員

都市環境工学と都市計画の 2 つの専攻分野があるので、受験申告票の専攻分野欄のうち志望する専攻分野に○印をつけ、入学願書に添付して提出すること。

博士後期課程入学者は、指導教員の指導を受けて研究を行うので、本案内 4 頁別表 1 等を参照して、受験申告票の所定欄に希望する指導教員名(複数でもよい)を記入すること。

3. 入学時期

本専攻では、平成 30 年 4 月入学のほか、平成 29 年 9 月入学を認めている。合格の際、早期入学を希望する者は、受験申告票の「平成 29 年 9 月入学」に○印をつけること。また、入学願書の所定の箇所にも同様に記入すること。

ただし、平成 29 年 9 月入学の受け入れ数には限度があり、希望しても平成 30 年 4 月入学に回されることがある。

4. 選抜方法

第 1 次試験(第 5 項参照)と第 2 次試験(第 6 項参照)による。なお、平成 29 年 9 月 30 日までに入学資格を満たしている(見込みを含む)志望者に対しては、入学を希望する時期にかかわらず、これらを併せて実施する。

注)本専攻では、出願日程 B による選抜は実施しない。

5. 第 1 次試験

第 1 次試験は、筆記試験、口述試験によって行う。試験日程は本案内 11 頁のとおりである。なお、志望者が次のいずれに該当するかによって、本項(イ)に示すように、受験しなければならない筆記試験の科目が異なる。

る。

- ① 本学大学院都市工学専攻修士課程修了者，または修了見込みの者(都市工学修士)
 - ② 都市工学専攻以外の本学大学院修士課程修了者，または修了見込みの者(本学修士)
 - ③ 本学以外の修士課程修了者など，出願資格を有し，かつ上記①②に該当しない志望者(一般志望者)
- なお，従前「研究業績を有する」社会人志望者に対して行っていた社会人特別選抜試験は実施しない。

(イ) 筆記試験：

		試 験 科 目		
		(A)外国語	(B)都市工学専門 (C)計画・設計・論文	研究業績・研究計画
		2時間 30分	各 3時間	2時間
試験内容等		2頁の修士課程入学志望者案内第5項(イ)を参照	2頁の修士課程入学志望者案内第5項(イ)を参照	修士論文の内容及び博士後期課程での研究計画を記述する
受験の要否	①都市工学修士	—	—	○
	②本学修士	—	○	○
	③一般志望者	○	○	○

注) ○:受験しなければならない科目 —:筆記試験を省略する科目

(ロ) 口述試験:志望専攻分野について，博士後期課程における研究計画等に関する口述試験を行う。

6. 第2次試験

第2次試験は，修士論文またはこれに代わるものにもとづき，口述試験により行う。

(イ) 平成29年9月30日までに入学資格を満たしている(見込みを含む)志望者

第1次試験(ロ)の口述試験と併せて行う。該当者は，修士論文またはこれに代わるものを平成29年8月21日(月)17時(必着)までに都市工学専攻事務室に提出すること(郵送可)。

(ロ) 上記以外の志望者

第2次試験の期日は平成30年2月であり，詳細は本学工学系研究科事務部より第1次試験合格者に通知する。

7. 過去の入学試験問題の公開

過去の入学試験問題は，本専攻 Web サイトで公開している。

8. 説明会

都市環境工学分野説明会を5月20日(土)13時30分より工学部14号館8階802号室(都市工学専攻会議室)にて，都市計画分野説明会を5月25日(木)18時00分より工学部14号館2階144講義室にて開催する。

9. その他

入学志望者は，本案内12頁に記載されている「入学試験受験者心得」を熟読すること。

10. 連絡先等

連絡先： 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻事務室

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1 電話:03-5841-6216

都市工学専攻 Web サイト <http://www.due.t.u-tokyo.ac.jp/>

都市工学専攻 受験申告票

博士

本受験申告票は、募集要項の出願方法に従い、他の提出書類等とともに所定の出願期間内に提出すること。

下記の所定欄に記入し該当する項目に○をつけること。つけおとしがあるときは、出身専攻等を考慮して本専攻で試験科目及び選択科目を指定することがある。

ふりがな		
博士後期課程受験者氏名 Name: Surname, First name		
専攻分野 <small>注1)</small> Major field of study	都市環境工学 Urban Environmental Engineering	都市計画 Urban Planning
入学希望時期 <small>注2)</small> Anticipated entry	平成 29 年 9 月入学 September, 2017	平成 30 年 4 月入学 April, 2018
<small>(入学願書に記入した内容と必ず一致させること)</small> The term stated above must be in accordance with the term stated in the application form		
希望指導教員(複数可) Names of anticipated supervisors		
英語による解答 <small>注3)</small> Do you wish to take the examination in English?	希望する Yes	希望しない No

注 1) 本案内 7 頁第 2 項を参照のこと。

注 2) 本案内 7 頁第 3 項を参照のこと。

注 3) 本案内 2 頁第 5 項を参照のこと。

博士後期課程における研究計画について (Research plan)

研究テーマ, 目的, 方法を下欄に簡潔に記述しなさい。

修士課程・博士後期課程 学生選抜試験日程

課程	試験科目		日時	試験場所	持参用具	備考
修士課程	外国語	(A) 英語	8月28日(月) 9:00~11:30	①受験票発送時に外国語試験会場案内を同封する。 ②試験室は、8月25日に工学系研究科事務部掲示板に掲示する。 (受験者心得参照)		TOEFL ITP®による。 なお、出願時にTOEFL PBT®または TOEFL iBT®公式スコアを提出した場合は、そのスコアを(A)英語の試験に替える。
	専門科目	(C) 計画・設計・論文 ^{注)}	8月28日(月) 13:00~16:00	試験室は、8月25日に工学部14号館1階に掲示する。	C-3・C-4の受験に際しては、色鉛筆及び定規を持参すること。	
		(B) 都市工学専門	8月29日(火) 10:00~13:00			
	口述試験		9月1日(金) 10:00~	工学部14号館8階 都市工学専攻会議室		
博士後期課程	外国語	(A) 英語	8月28日(月) 9:00~11:30	①受験票発送時に外国語試験会場案内を同封する。 ②試験室は、8月25日に工学系研究科事務部掲示板に掲示する。 (受験者心得参照)		TOEFL ITP®による。 なお、出願時にTOEFL PBT®または TOEFL iBT®公式スコアを提出した場合は、そのスコアを(A)英語の試験に替える。
	専門科目	(C) 計画・設計・論文 ^{注)}	8月28日(月) 13:00~16:00	試験室は、8月25日に工学部14号館1階に掲示する。	C-3・C-4の受験に際しては、色鉛筆及び定規を持参すること。	
		(B) 都市工学専門	8月29日(火) 10:00~13:00			
		研究業績・研究計画	8月29日(火) 14:30~16:30			
	口述試験		8月31日(木) 10:00~	工学部14号館8階 都市工学専攻会議室		

注) (C)の解答に用いる電卓は貸与するので持参しないこと。テンプレートの使用は認めない。また、色鉛筆の他にフェルトペン(水性ペン、サインペン)を使用しても良い。インクを使用する製図ペンや絵具の使用は認めない。

平成30(2018)年度 東京大学大学院工学系研究科入学試験受験者心得

1. 試験日

平成 29 年 8 月 28 日(月)～9 月 1 日(金)

(各科目等の試験時間・場所の詳細は、志望専攻の「専攻入試案内書」を参照すること。)

2. 試験場

東京大学大学院工学系研究科(東京都文京区本郷 7-3-1)試験場案内図参照

- (1) 各自が受験すべき科目の試験室については、平成 29 年 8 月 25 日(金)午前 10 時に工学系研究科掲示板及び各専攻掲示板に掲示するので、予め試験室を確認しておくこと。また、各専攻の掲示板等も必ず確認すること。

TOEFL ITP 試験を受験する者は、別紙「外国語試験(TOEFL ITP)受験案内」も参照すること。なお、受験者によっては、外国語試験(TOEFL ITP)と一般教育科目(一般学術)及び専門科目(専門学術)の試験室が異なる場合があるので、注意すること。

- (2) 受験者は、試験開始時刻の 15 分前までに所定の試験室に入室すること。なお、専門科目(専門学術)試験については、専攻において別に指示することもある。

3. 携行品

- (1) 受験票
- (2) 黒色鉛筆(又はシャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り(卓上式は不可)、時計(計時機能だけのもの)
- (3) 携帯電話等の電子機器類は、試験室入室前にアラームの設定を解除した上で電源を切り、カバン等に入れ、身につけないこと。携帯電話等を時計として使用することは認めない。
- (4) 専門科目(専門学術)試験の携行品については、専攻において別に指示することもある。

4. 一般教育科目(一般学術)試験時の留意事項

- (1) 試験開始後は、解答が終わった場合でも、また、受験を放棄する場合でも退室を許さない。
- (2) 試験時間中、受験票を常に机の上に置くこと。
- (3) 一般教育科目(一般学術)試験においては、解答用紙ごとに受験番号を記入すること。氏名は書いてはならない。1 問ごとに必ず 1 枚の解答用紙を使用すること。書ききれない場合は、裏面を使用してもよい。試験終了後、解答用紙上部の指定箇所を正しく切り取ること。
- (4) 解答用紙及び問題冊子は、持ち帰ってはならない。

5. 博士課程第 2 次試験

博士課程第 2 次試験は、原則として平成 30 年 1 月下旬から 2 月中旬とし、期日・場所は追って通知する。

6. その他

- (1) 合格者は、平成 29 年 9 月 7 日(木)午後 4 時、工学系研究科掲示板に掲示する。また、平成 29 年 9 月 8 日(金)までに本研究科 Web サイトに掲示する。Web サイトへの掲載時刻は上記の掲示板への掲示より後となる。(<http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/index.html> からリンクする。)
- (2) 合格者については、翌日付で、合格通知書を本人あてに郵送する。電話、FAX、メール等による合否の照会には応じない。
- (3) 出願以後において、現住所、受信場所等に変更が生じた場合には、速やかに届け出ること。
- (4) 問合せ先：東京大学大学院工学系研究科学務課大学院チーム(03-5841-6038、7747)

Notice for Examination ~The 2018 Master's / Doctoral Program Graduate School of Engineering the University of Tokyo~

1. Examination Dates

Examinations will be held over five days, from August 28 (Monday) through September 1 (Friday), 2017.

(For details on times and location of the examination subjects, refer to "Guide to Entrance Examination" of the department you are applying to.)

2. Examination Location

Refer to the "Campus Map for the Examination" [see the attached paper].

(1) The actual place of the examination subjects for applicants will be posted on the bulletin board for School of Engineering and each department at 10:00 a.m. on August 25 (Friday), 2017.

Confirm the specified place for the examination subjects beforehand. In addition, confirm the bulletin board for the department you are applying to.

Applicants registered for the examination of TOEFL ITP must refer to the "Guide for Applicants Taking the Examination of TOEFL ITP" [see the attached paper]. Note that the examination room of TOEFL ITP, Regular education subjects(一般教育科目(一般学術)), and specialized subjects(専門科目(専門学術)) may differ.

(2) Applicants should arrive at the specified place for the examination subjects 15 minutes prior to the scheduled examination time.

For the examination of specialized subjects(専門科目(専門学術)), also refer to notice by the department you are applying to.

3. Items to Bring

(1) Examination admission card

(2) Black pencils (or black mechanical pencils), an eraser, a pencil sharpener (a desktop type is not allowed) and a watch (only with a time measurement function is allowed).

(3) Use of electronic devices such as cell phones is strictly prohibited throughout the examination, even if you only use it as a watch. Make sure to completely deactivate the alarm setting, turn off the phone power, and put it in your bag before you enter the examination room. Do not take it out in the examination room.

(4) For the item to bring for the examination of specialized subjects(専門科目(専門学術)), refer to notice by the department you are applying to.

4. Notice during Examination of Regular Education Subjects (一般教育科目(一般学術))

(1) Applicants can not leave the examination room after the start of the examination.

(2) The Examination admission card must be kept on your desk at all times during the examination.

(3) For the examination of regular education subjects(一般教育科目(一般学術)), applicants must write his/her examinee number on each answer sheet, not his/her name. Applicants must use one answer sheet for each problem. Applicants can use the reverse side if necessary. At the end of the examination, follow your proctor's instructions and carefully cut out the designated places with a pair of scissors.

(4) Applicants can not take away the answer sheets and the problem booklets after the examination.

5. The Secondary Examination for Applicants to the Doctoral Program

The secondary examination will be held between late January and mid-February, 2018.

Applicants will be advised of Examination dates and location regarding secondary examinations for the department you are applying to later.

6. Miscellaneous

(1) The Examinee Numbers of successful applicants will be posted on the School of Engineering bulletin board at 4:00 p.m. on September 7 (Thursday), 2017.

The Examinee Numbers of successful applicants will be posted on the web site of the School of Engineering by September 8 (Friday), 2017, as well. It will be next from the post time to the bulletin board mentioned above. (The page will be linked from <http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/index.html>).

(2) Successful applicants will be notified of authorization for admission by mail from the day following the announcement of successful applicants. The School will not accept telephone calls, fax, e-mail, and other inquiries regarding the results of the examinations.

(3) After the application process is complete, applicants must report immediately in case of change of current address or contact.

(4) For inquiries, contact: Graduate School Team, Administrative Division, School of Engineering, the University of Tokyo (03-5841-6038,7747)

試験場案内(東京大学本郷キャンパス)
Campus Map for the Examination
(Hongo campus, the University of Tokyo)

地下鉄利用 Subway

- 本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線) 徒歩20分
Hongo-sanchoime Station (Subway Marunouchi Line) 20min.walk
- 本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) 徒歩20分
Hongo-sanchoime Station (Subway Oedo Line) 20min.walk
- 根津駅(地下鉄千代田線) 徒歩15分
Nezu Station (Subway Chiyoda Line) 15min.walk
- 東大前駅(地下鉄南北線) 徒歩10分
Todaimae Station (Subway Namboku Line) 10min.walk

その他のアクセスについては次を参照のこと

Refer to the following for other accesses

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html

